

# せき

山下 残 ダンス 公演

2004.Oct.30sat.31sun.

アイホール



山下残 ダンス公演

せき

日時 2004.10.30 sat. 3:00pm/7:30pm  
31 sun. 3:00pm【開場は開演の30分前】

\*30日(土) 3:00pm 公演終了後アフタートーク有。ゲスト：砂連尾理(振付家・ダンサー)

料金 前売 2500円 / 当日 2800円【全席自由・日時指定】 学生 2000円【前売・当日共 / 要学生証】

会場・前売取扱・お問合せ アイホール 〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

tel 072-782-2000 fax 072-782-8880

http://www6.ocn.ne.jp/~aihall e-mail aihall@juno.ocn.ne.jp

チケット取扱い

電子チケットぴあ tel 0570-02-9966【Pコード：356-252】

tel 0570-02-9999【オペレーター予約】

JCDN ダンスリザーブ【オンライン予約サービス】 http://dance.jcdn.org/

profile

山下残(やましたざん) 1970年大阪府生まれ。19才の頃からダンスを始め、'95年頃から振付家・ダンサーとして作品の発表を続ける。テーマのある、ダンスの枠組みにおさまらない作品づくりを行っている。アイホールでのTake a chance project 3回目になる今回はここ数年取り組んできた言葉と身体との関係について完成を試みる。

振付・構成・演出・出演 山下残

舞台美術 池田ともゆき

舞台監督 西田聖 (GEKKEN staff room)

照明 吉本有輝子 (GEKKEN staff room)

音響 加藤陽一郎 (sfc)

映像 山田晋平

宣伝美術 納谷衣美

チラシ画 山尾圭介

主催 伊丹市 / (財) 伊丹市文化振興財団

平成16年度文化庁芸術拠点形成事業



この作品は今年8月に京都芸術劇場スタジオ21で発表した尾崎放哉「せきをしてもひとり」を発展させ新たに作り直したものです。タイトルは最初「ひとり芝居」にしようと思いましたが、なぜひとり芝居にしたかったかという、ソロダンスにしたかった。それに演劇の要素を加えたかった。だけどダンス公演「ひとり芝居」というのは今は良くて何年後かに思い出して恥ずかしくなるような気がしてやめました。次に考えたタイトルは「34」これは東京の34(トリオフォー)というグループがなぜか「山下残」というタイトルの公演をしたので「じゃあ俺も34というタイトルの公演をする」と約束してしまい、それで私は今年34才なので山下残ソロダンス「34」。これもまた何年後かに後悔するなと思いやめました。この場を借りてトリオフォーの皆様にご約束守れなかった事をお詫びします。それで悩んだ末「せきをしてもひとり」から「せき」をタイトルにする事にしました。(せき)もしくは(咳)は今の時点でダンス作品のタイトルとしてあまり良いとは思わないです。

けど何年後かに、かっこいいと思える気がしています。今までのタイトル「そこに書いてある」「透明人間」などは自分で言うのも何ですが上手くつけ過ぎた。タイトルが変でも作品の内容が良ければかっこいいという事で、これからがんばります。

最近ひとりでせきををする練習をしていて気づいたのは、せきは呼吸する(すって)(はいて)の(はいて)の時に出るのだという事。そしたら繰り返してせきをしながら無音の音楽を奏でているミュージシャンのような気分になりました。もしかしたらタイトルは「すって(はいて)」が良かったかなとも考えました。「すって(はいて)」のほうがダンスっぽいタイトルだけど(すって(はいて))の呼吸のところはダンスじゃなくてやっばり(せき)する瞬間がダンスなんだ! 無音のサクセス奏者のダンスが咳なんだ! と毎日(すって(はいて)たまにせき)の練習をしながら自問自答しています。タイトル「自問自答」もいいですね。 山下残



関西を拠点とするパフォーマンス・アーティストとの共同製作事業  
Take a chance project 009  
Let's try to do something although there is a large risk of danger or failure!

アクセス  
JR伊丹駅西側すぐ  
阪急伊丹駅より東へ徒歩7分

